

- 立ち入り禁止
- 主要道路
- 道路
- 道
- 小道
- 小径
- 不明瞭な小径
- 住宅地・建物
- 建造物
- 大・小岩
- フェンス
- 岩産・土産
- 通行禁止

2012下野の国大会(144MHz) での私の判断と行動

2012年4月22日(日)
於 栃木県矢板運動公園
安島 巧

縮尺 1:15,000
等高線間隔 5m



初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

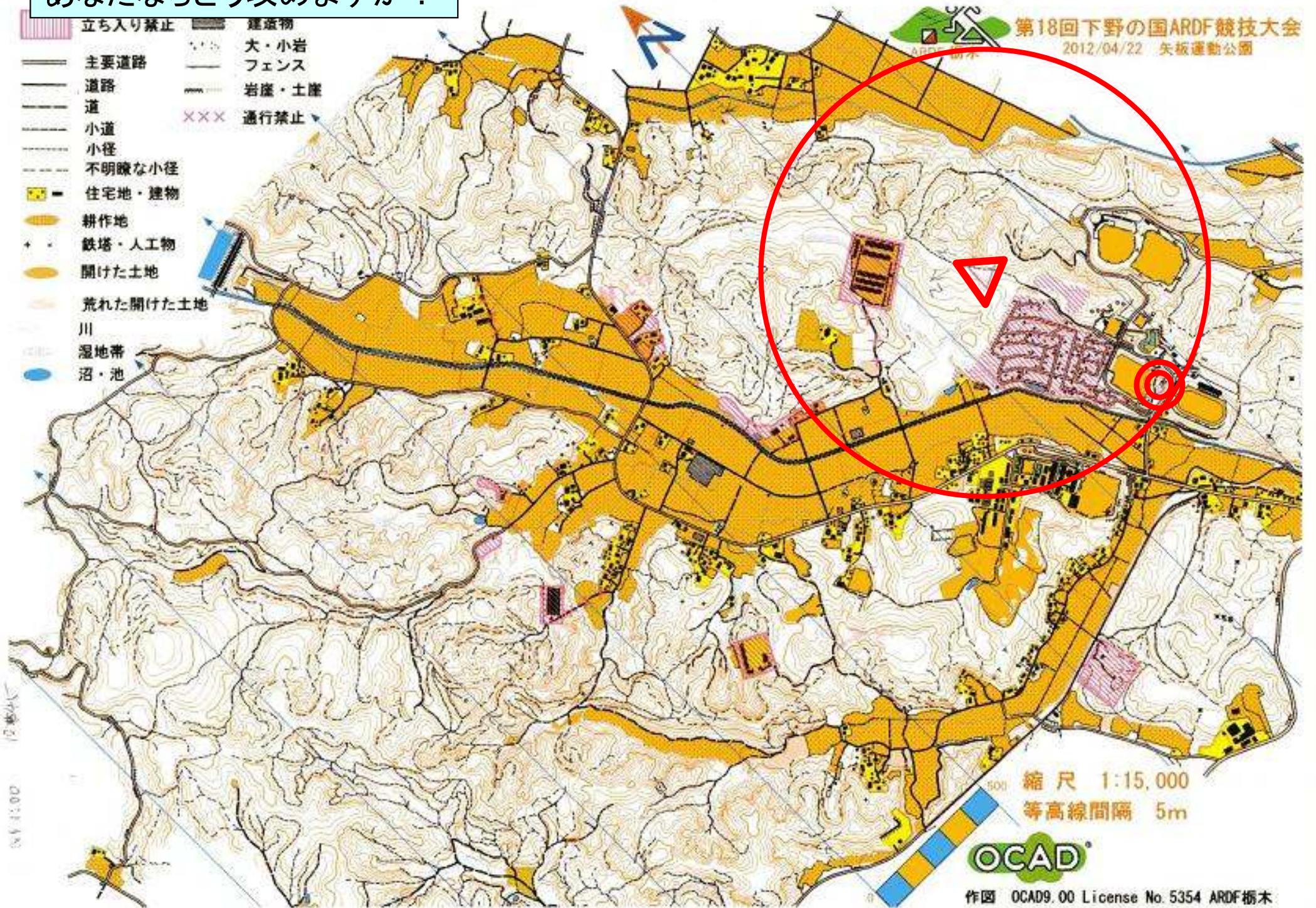
従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

- 立ち入り禁止
- 主要道路
- 道路
- 道
- 小道
- 小径
- 不明瞭な小径
- 住宅地・建物
- 耕作地
- 鉄塔・人工物
- 開けた土地
- 荒れた開けた土地
- 川
- 湿地帯
- 沼・池
- 建築物
- 大・小岩
- フェンス
- 岩産・土産
- 通行禁止

第18回下野の国ARDF競技大会
2012/04/22 矢板運動公園



縮尺 1:15,000
等高線間隔 5m

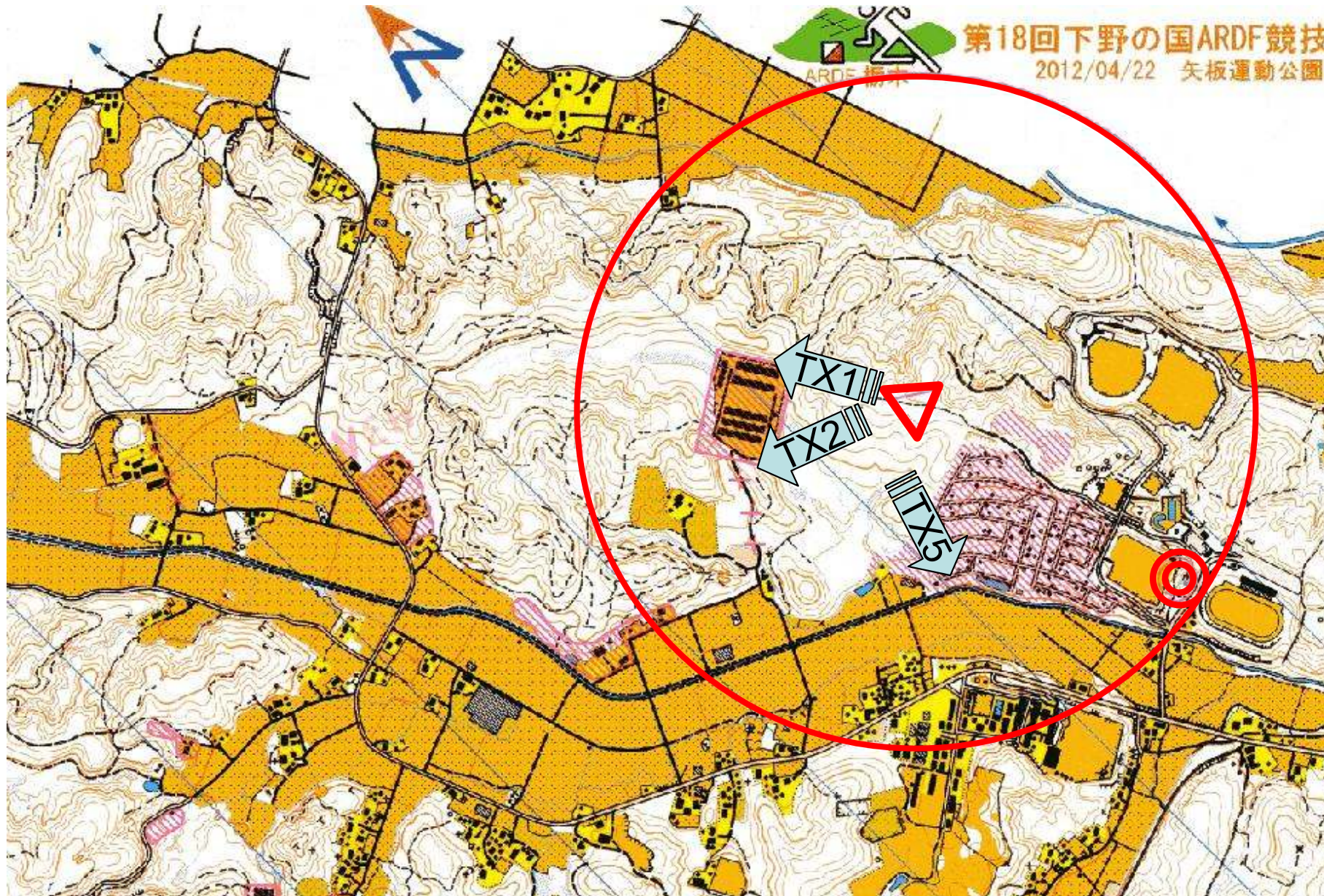


作図 OCAD9.00 License No. 5354 ARDF栃木

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|  立ち入り禁止 |  建築物 |
|  主要道路 |  大・小岩 |
|  道路 |  フェンス |
|  道 |  岩産・土産 |
|  小道 |  通行禁止 |
|  小径 | |
|  不明瞭な小径 | |
|  住宅地・建物 | |
|  耕作地 | |
|  鉄塔・人工物 | |
|  開けた土地 | |
|  荒れた開けた土地 | |
|  川 | |
|  湿地帯 | |

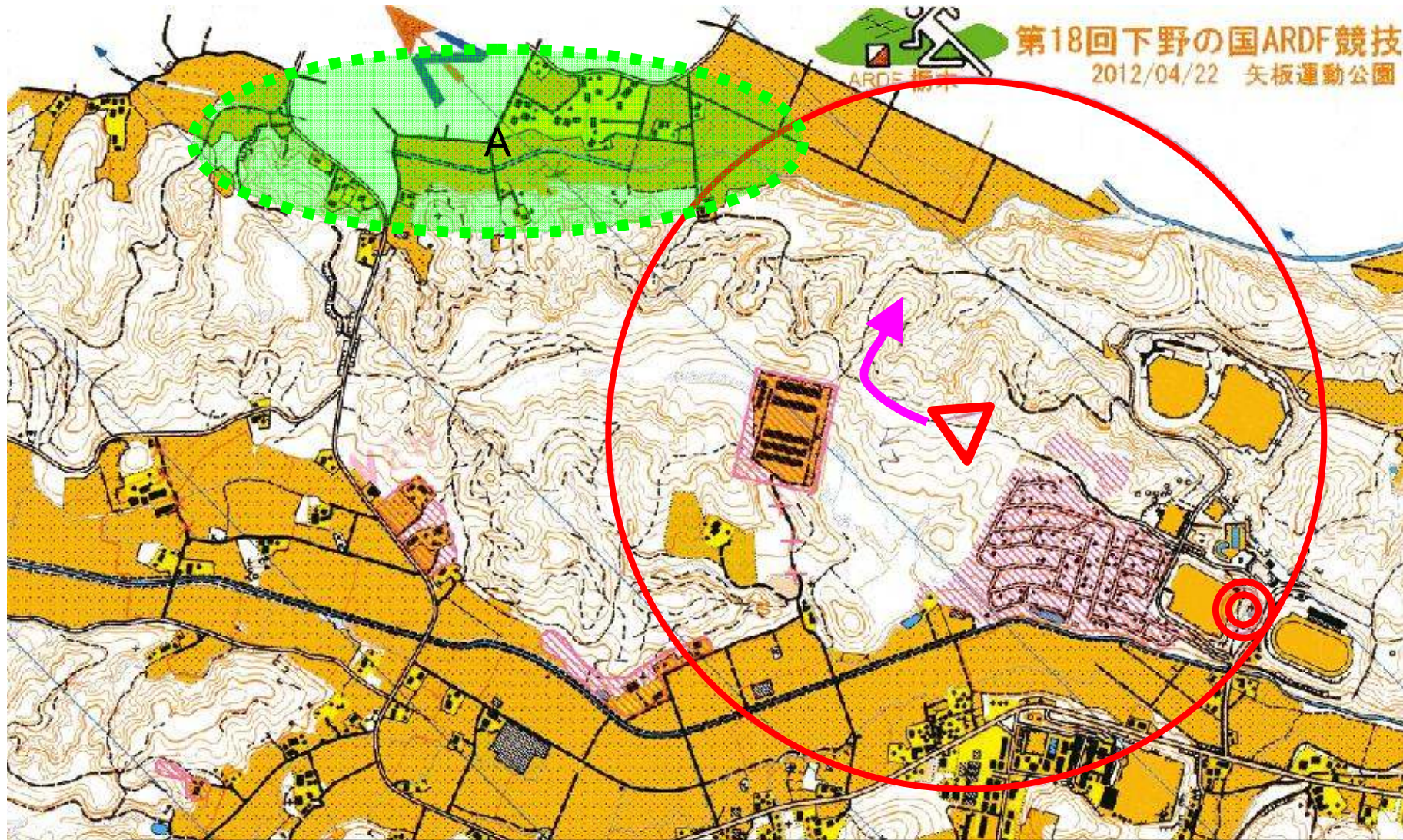
①スタート前の地図読み
地図の範囲は広いので、
おそらく全部は使ってはい
ないと思われる。しかし、ス
タート位置を北方向になぜ
ずらしたのかが不明。Aエ
リアにあるのだろうか？
とにかくAエリアに早く抜け
ることが肝要と思われる。
スタート地点にモニタ受信
機があって信号が聞こえる。
TX1はぴったり1分でス
タート。ありがたい。





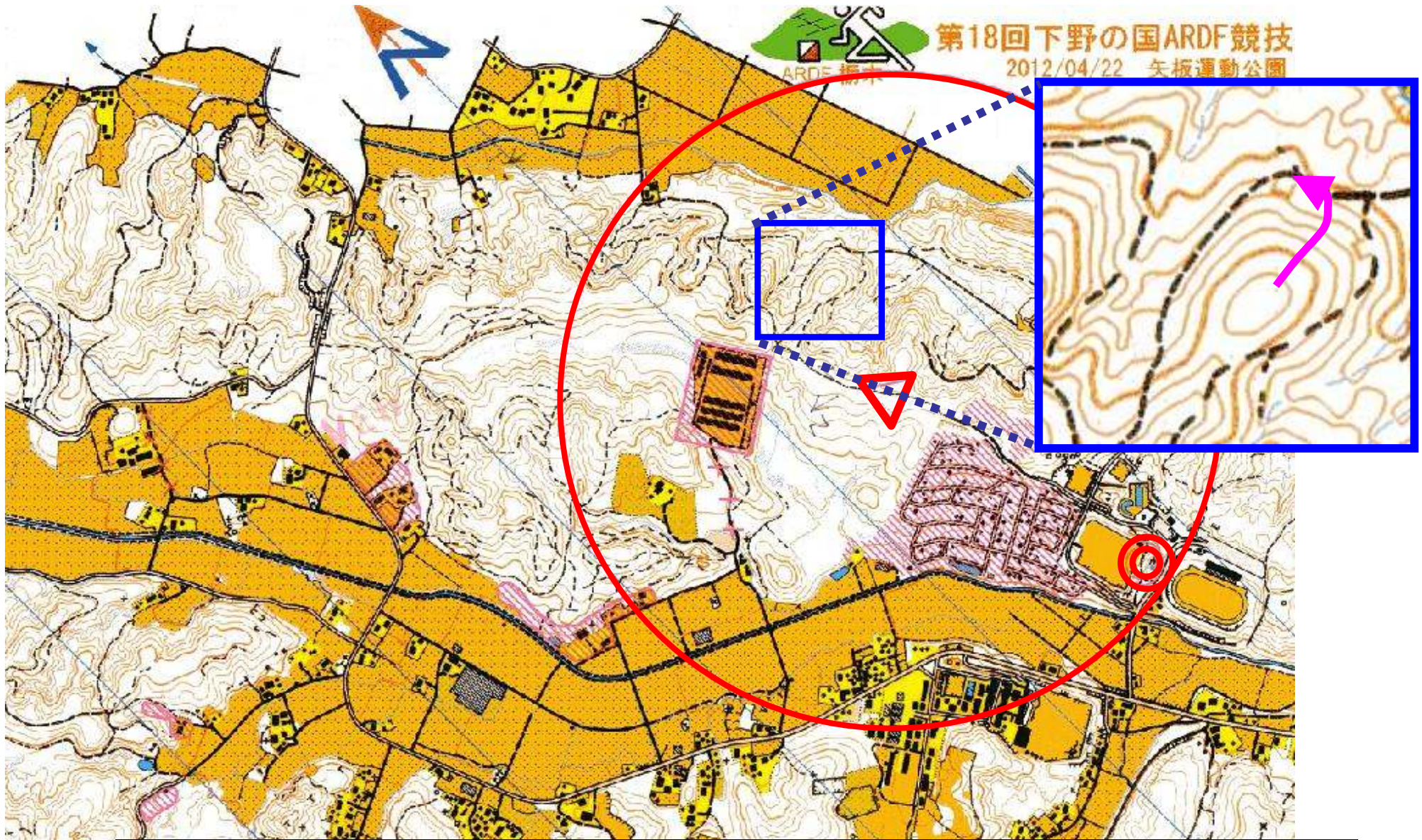
②探索開始地点

TX5が聞こえる。結構強い。しかしなぜか方向がよくわからない。ゴール方向のような感じもする。TX1は前方。TX2は斜め左だ。今日はTX1から順番か？



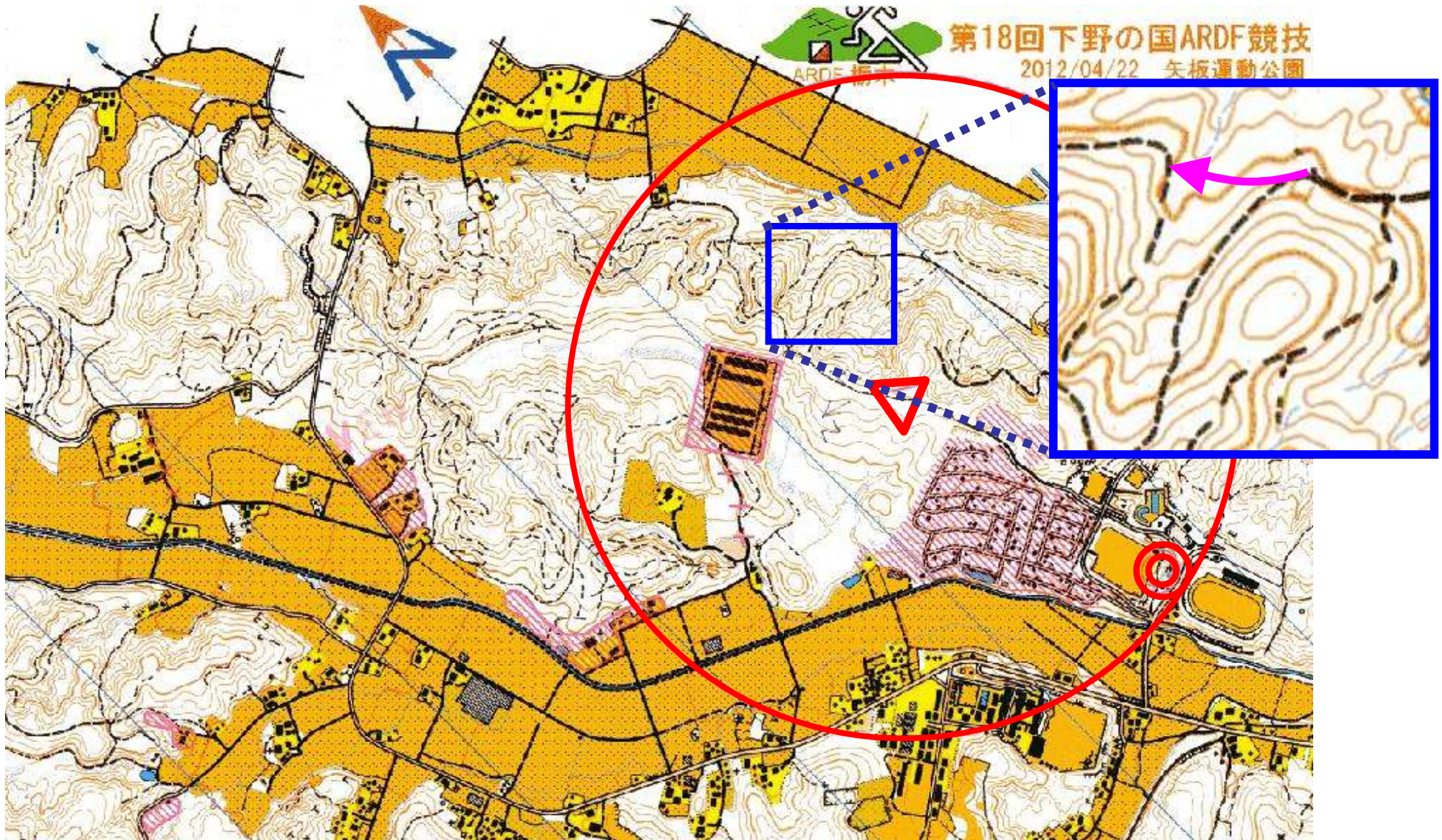
③道がなくなる

まもなく道がなくなる。よく見ると右下方向に、笹でつぶされている道を発見。Aエリアに下る方向なので、構わず下っていく。藪の中でYさんが方探しているのが見える。しばらく下ると、また道がわからなくなる。方向は確かなのでとにかくAエリアに向かって下る。



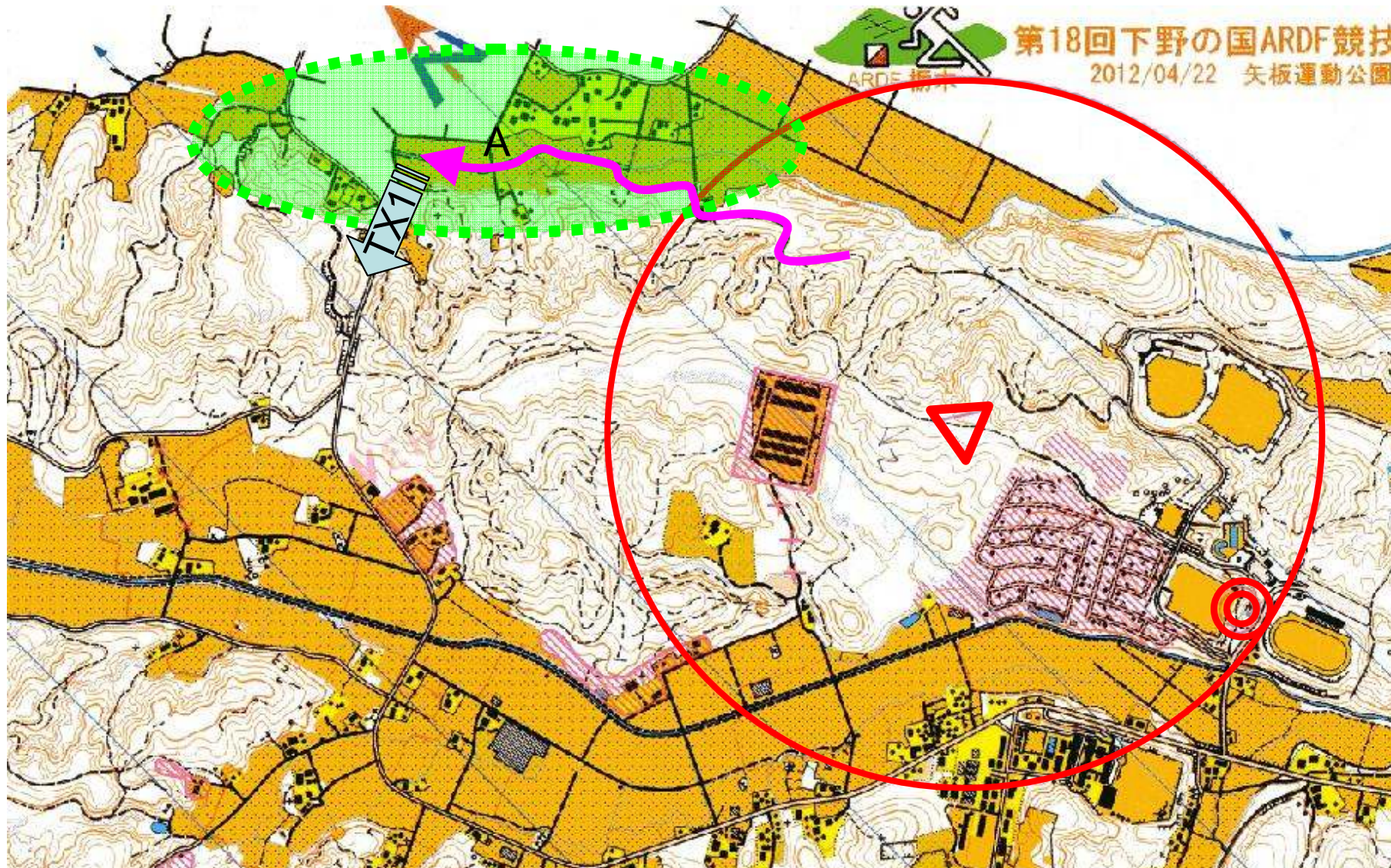
④道に出る

車が通れるほどの山道に出た。出た場所がよくわからないので右か左か迷うが、とりあえず北に向かう。



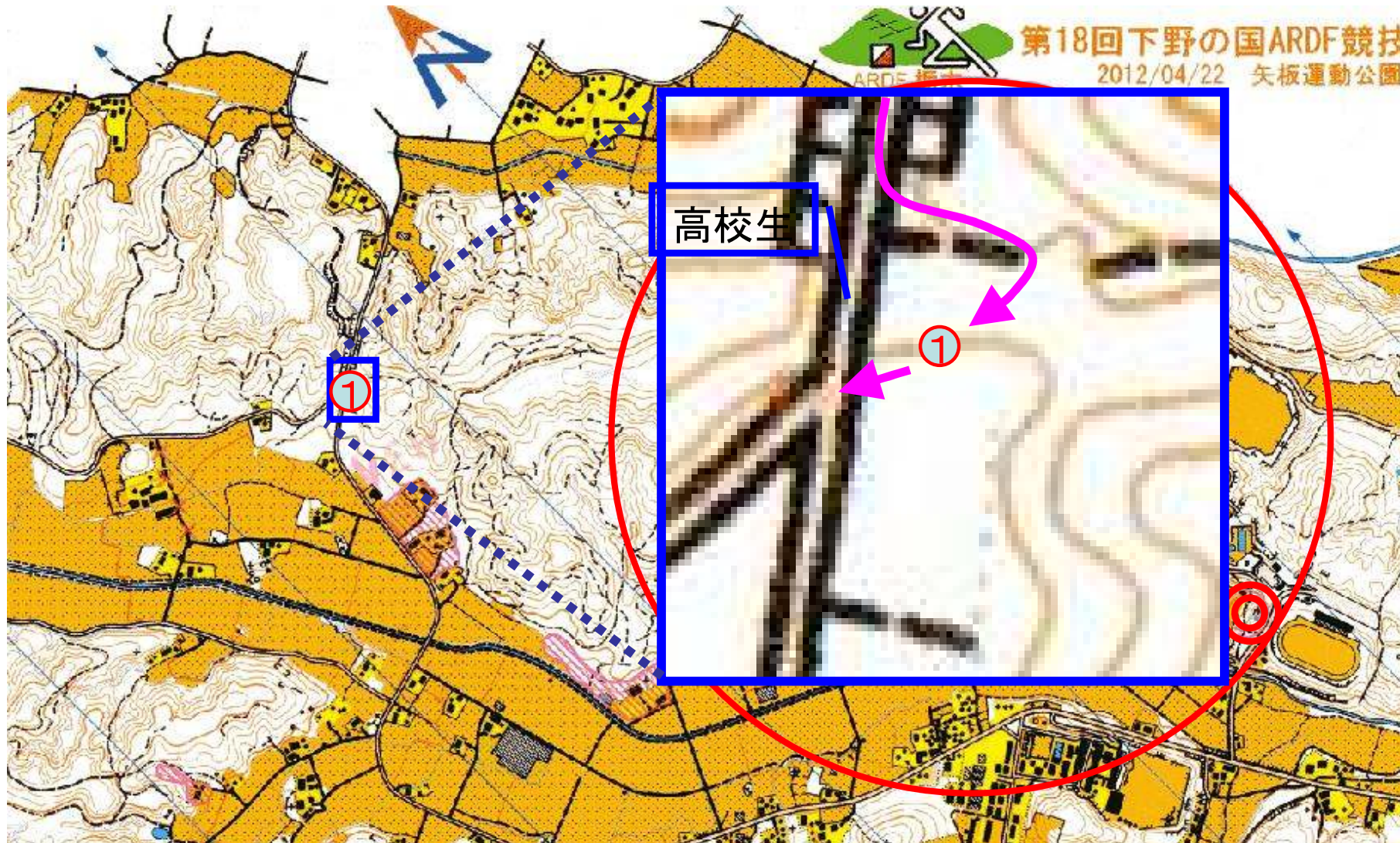
⑤ショートパス

道が左にカーブしている地点にくる。このトレインではいつも通るショートパスの場所で記憶がある。現在位置を確信して反対側の山道にショートパスする。



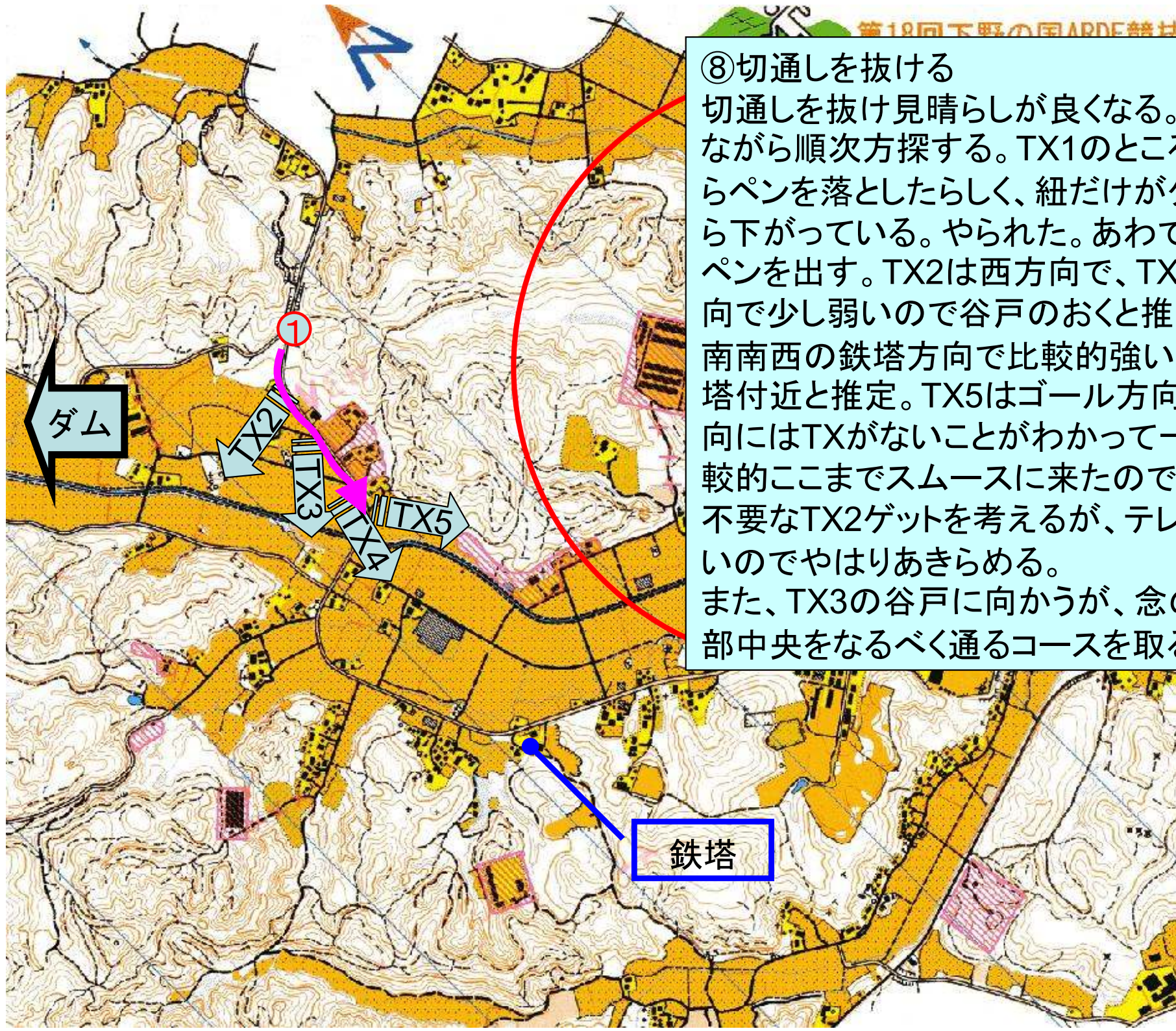
⑥Aエリア

TX1を含め、各信号は弱い。Aエリアにはないと確信。予定通りのコースで切通し方向へ向かう。切通しのへの道の入り口付近でTX1の方向を最終確認する。



⑦TX1

切通し付近に高校生が待機している。確かにその場所は、南方向(スタート地点方向)への道の入り口なので、待機場所としては正解だ。TX1が鳴く。南方向で強い。あわててATTを絞り林に突入する。10mくらい入ると方向が変わり、さっきの高校生の方向だ。TX1ゲット。道に戻ったが、高校生は動いた様子がない。ゲット後だったのか？



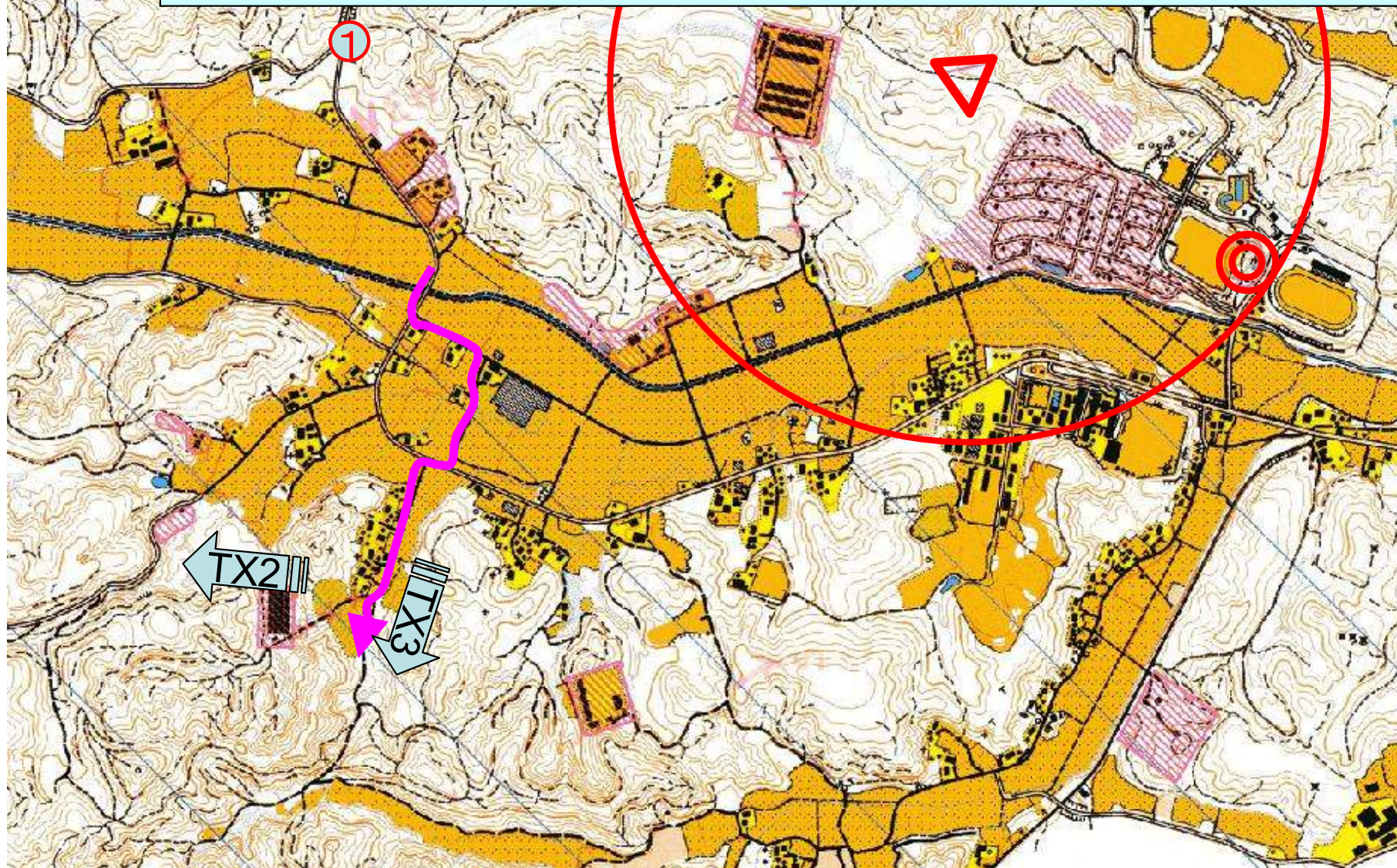
⑧切通しを抜ける

切通しを抜け見晴らしが良くなる。道を歩きながら順次方探する。TX1のところはどうやらペンを落としたらしく、紐だけがクビからぶら下がっている。やられた。あわてて予備のペンを出す。TX2は西方向で、TX3は南西方向で少し弱いので谷戸のおくと推定。TX4は南南西の鉄塔方向で比較的強いのでその鉄塔付近と推定。TX5はゴール方向だ。ダム方向にはTXがないことがわかって一安心。比較的ここまでスムーズに来たので、M50では不要なTX2ゲットを考えるが、テレインが広いのでやはりあきらめる。また、TX3の谷戸に向かうが、念のため平野部中央をなるべく通るコースを取る。



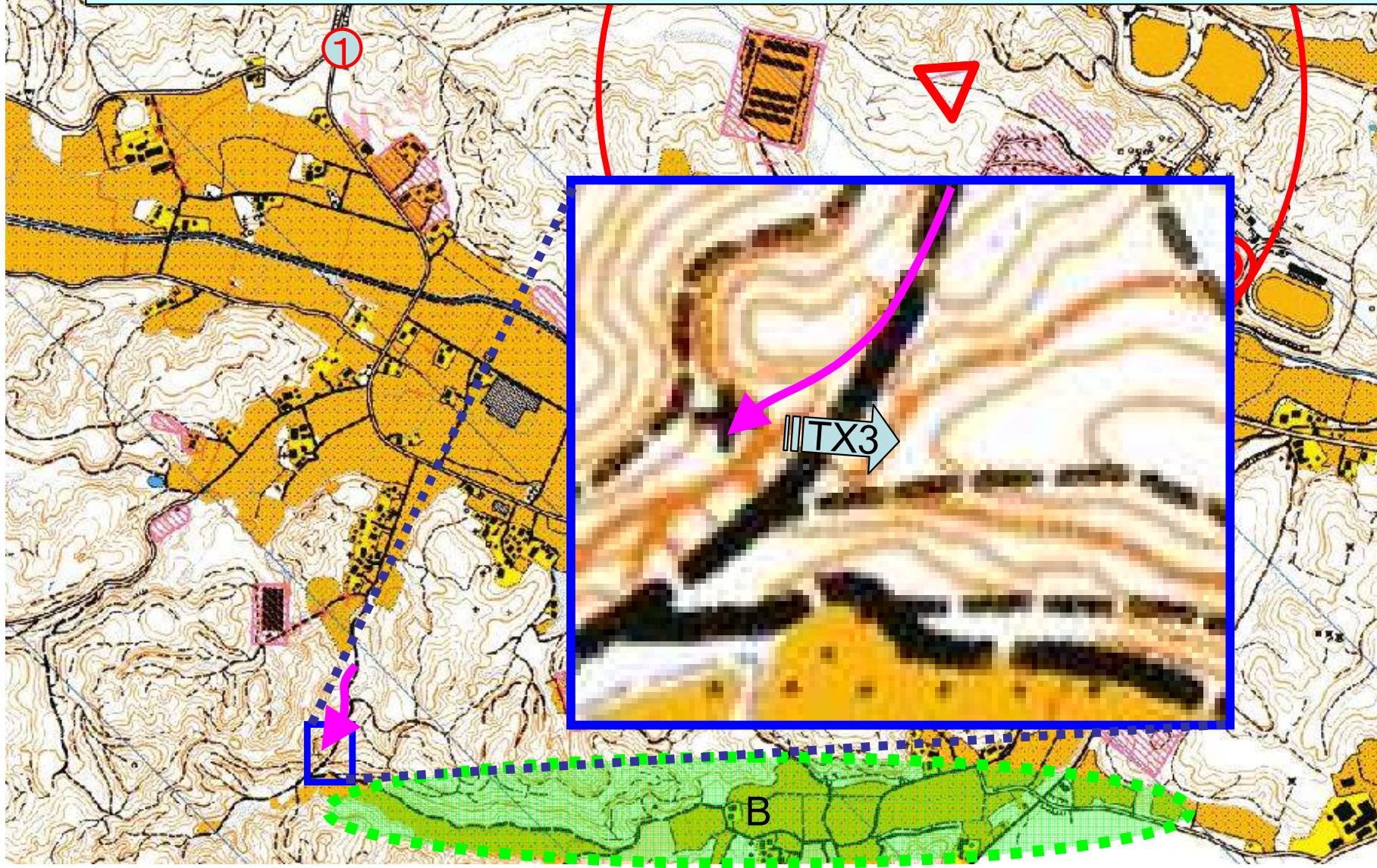
⑨谷戸に入る

余裕の佐藤先生とすれ違う。ゲットして戻ってきた様子だ。そろそろTX3が強烈に聞こえてきてもよさそうだが、まだ奥のほうだ。かわりにTX2が北西に強く聞こえる。オットー。



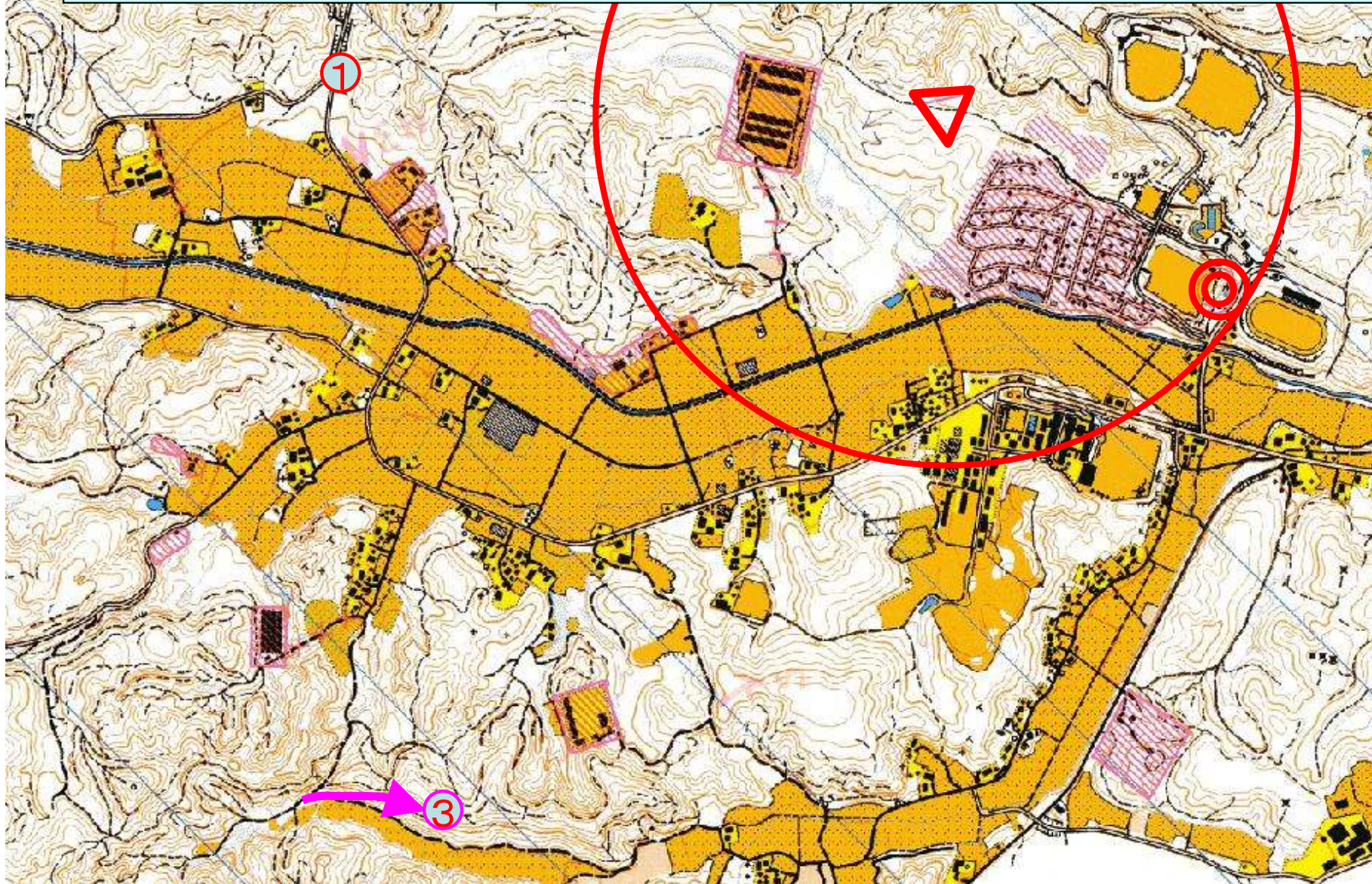
⑩切通し手前

Bエリアに抜ける寸前でTX3が鳴く時間が来てしまった。あわてて少しでも高いところへと右の壁をのぼる。思ったよりも強くなく、また方向も不確か。でもBエリアを見通せる方向(実際には見通せるところまではいけていない)に少し強く聞こえる感じだ。低いところではあるがBエリアまで出ていたら何かわかったかもしれない。



⑪TX3

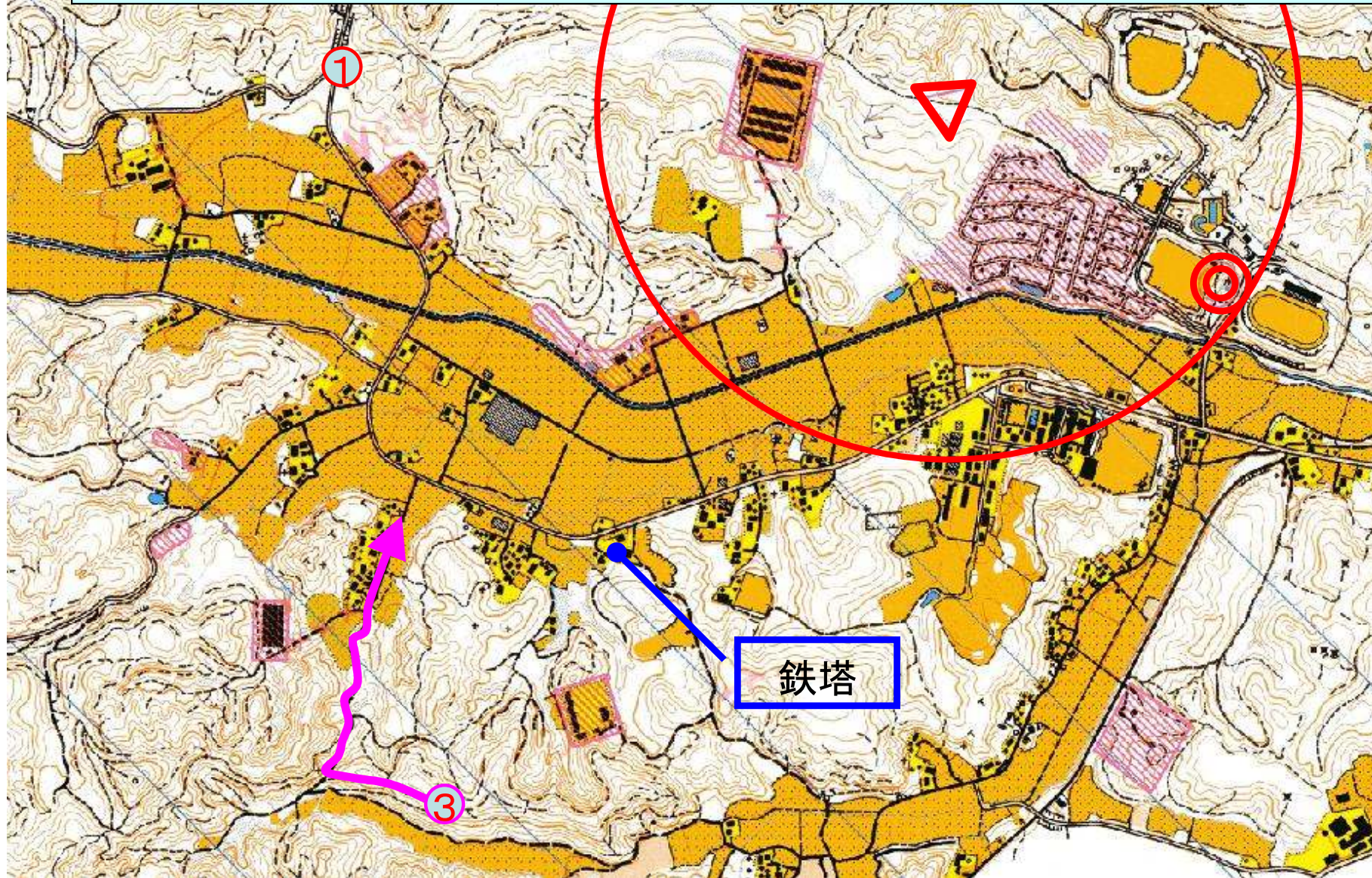
Bエリアに出て南東に向かうと、「道ではない。立入禁止」の看板がある。戸惑ったが、多少朽ちていることと、地図には太点線で書かれてあり代替の道路もないことからそのまま進むことにする。左に斜めに上る道がある。少しでも高いところということと、先ほどの方探地点から陰になるという理由で上る。TX3が鳴く。近傍だ。TX3ゲット。



⑫ テレイン中央部に戻る

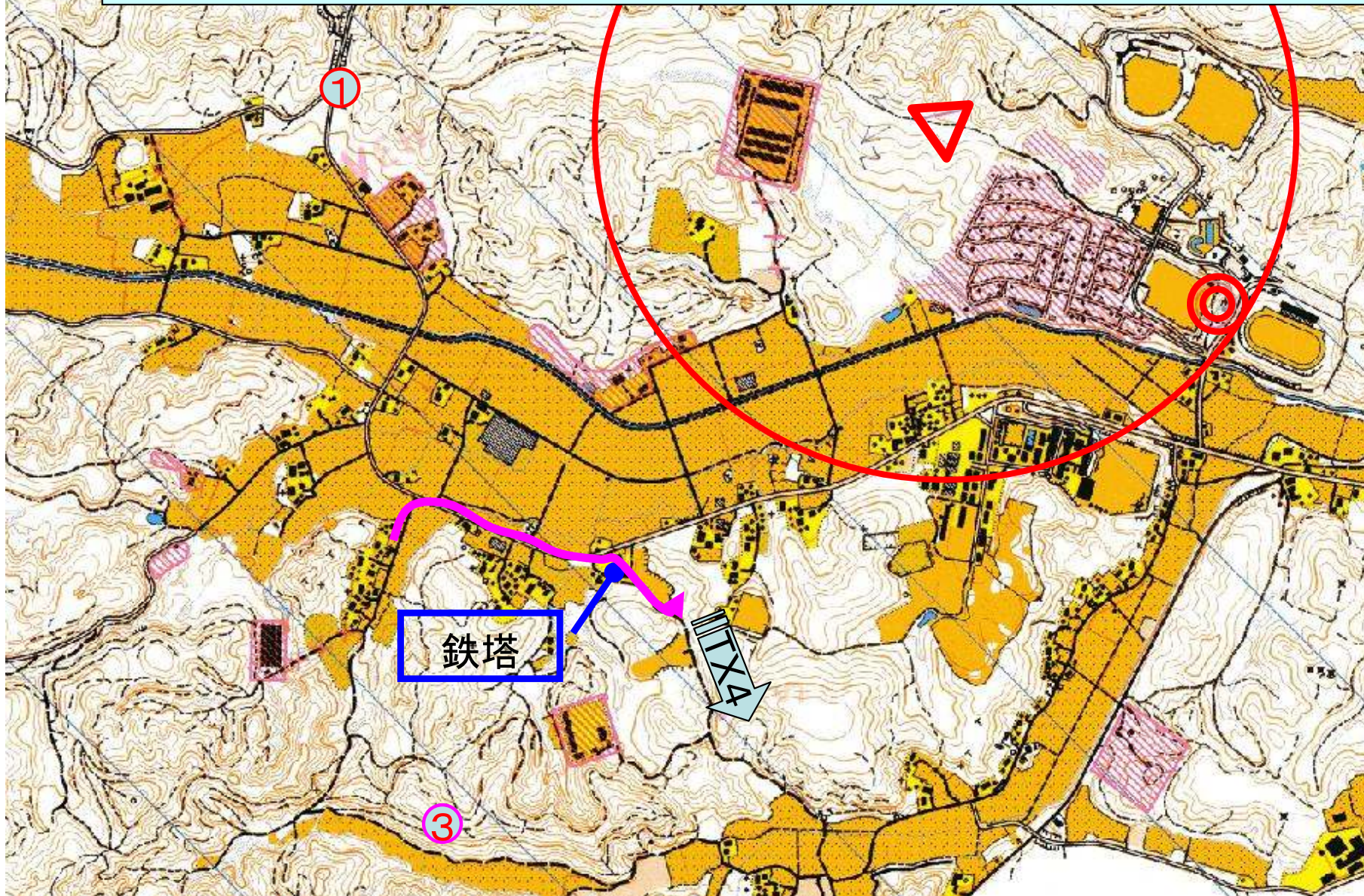
TX4は鉄塔付近と見込んでいたことと、先ほどの佐藤先生を思い出して、即断でテレイン中央部に戻ることにした。

途中でいつもは走っているHさんとすれ違う。今日はシーズン初めなので感覚復帰に徹しているのかな？



⑬ 鉄塔付近

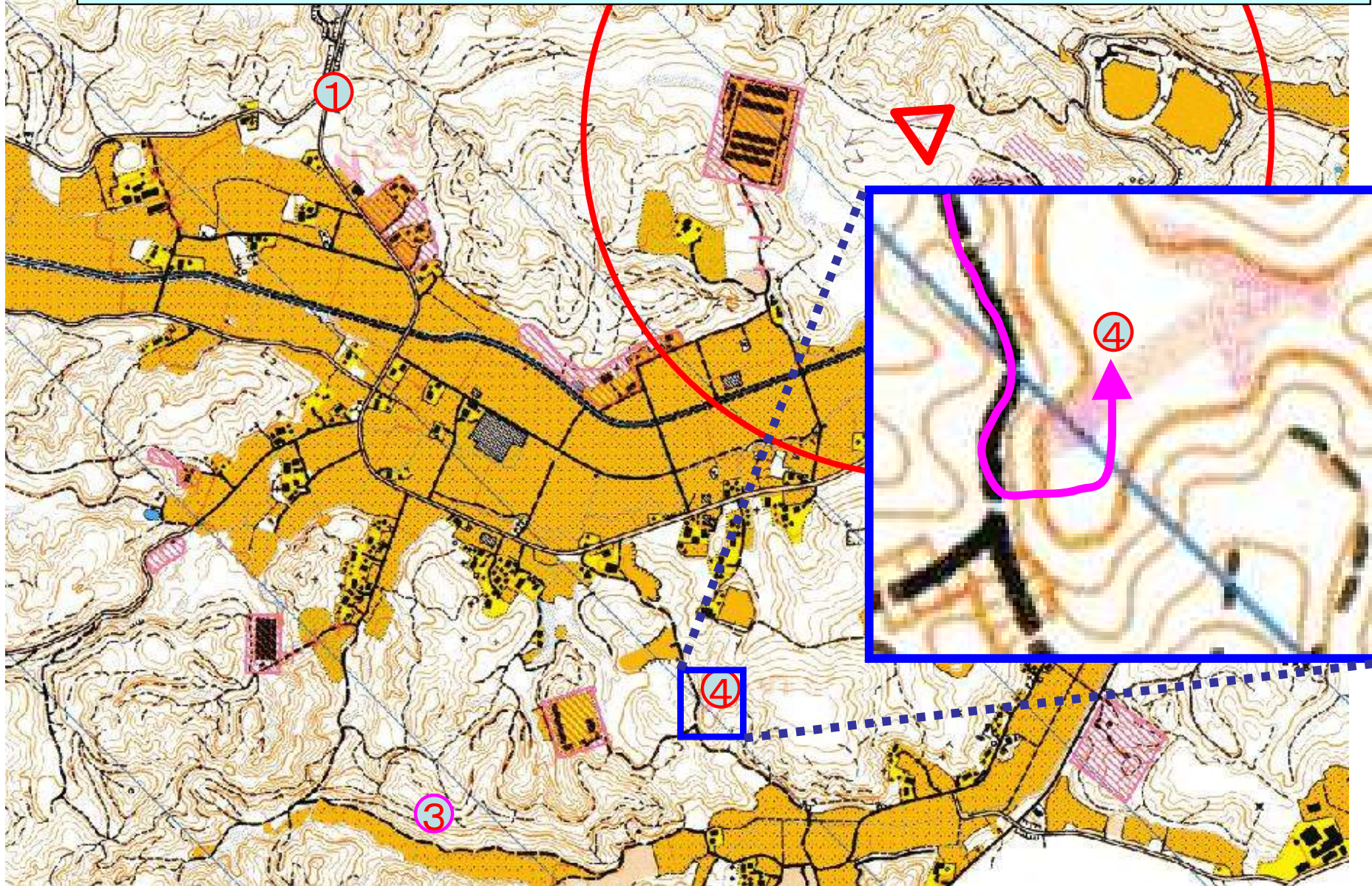
TX4が鳴く。結構強いが、もっと奥のほうだ。余裕の佐藤先生とまたすれ違う。それほど遠くはないのか？ 設置されそうな場所が比較的高いところがあり、そこで行って目視探索したがない。TX4がまた鳴く。さらに奥のほうだ。





⑭TX4

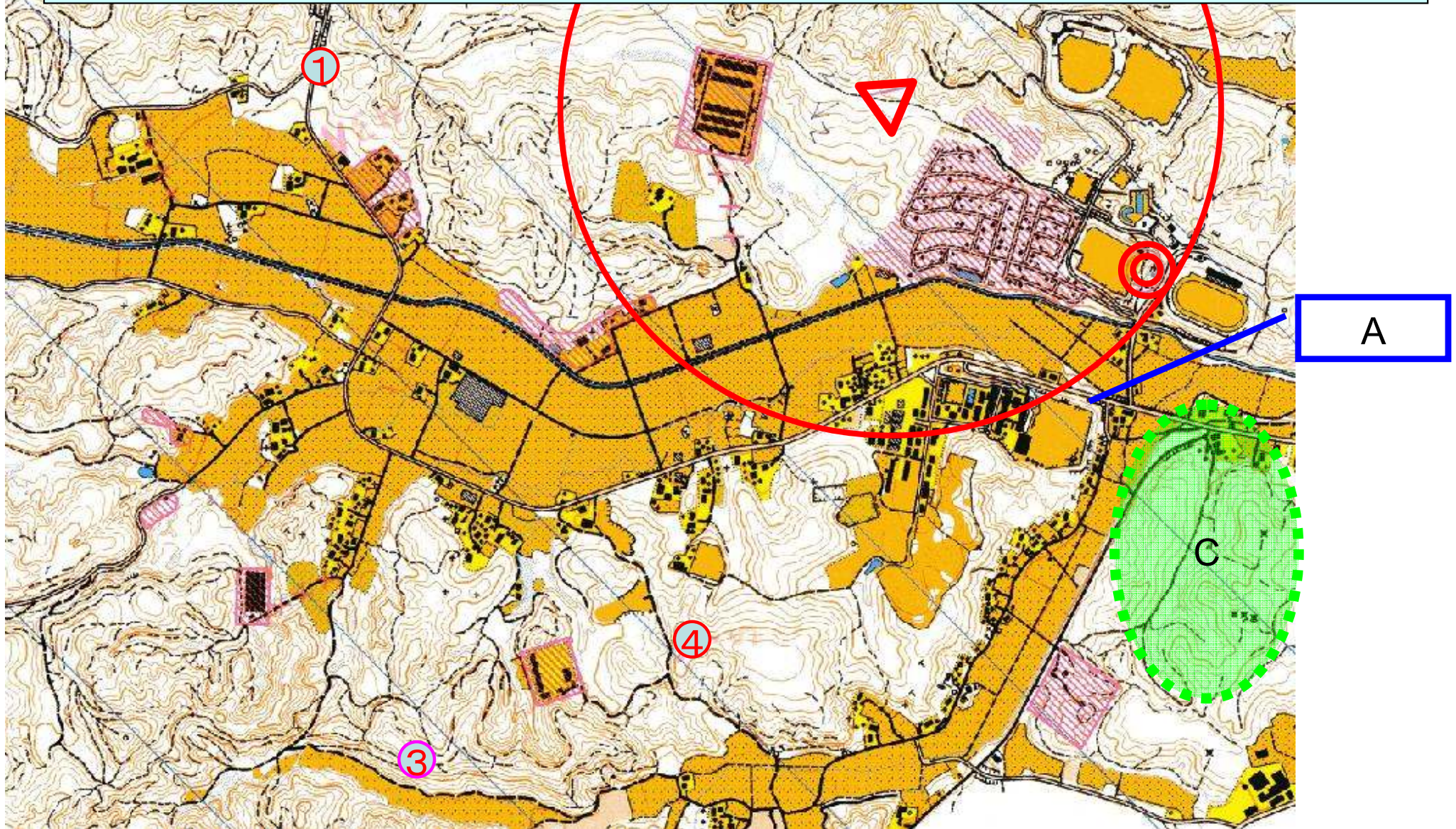
さらに進むと左側に禿山がある。さすがに禿山には設置されそうにないが、TX4の時刻が近づき、また見晴らしがよさそうなので上ってみる。TX4が鳴く。後ろ方向に強い。すぐ近くだ。TX4ゲット。



⑮南に回る

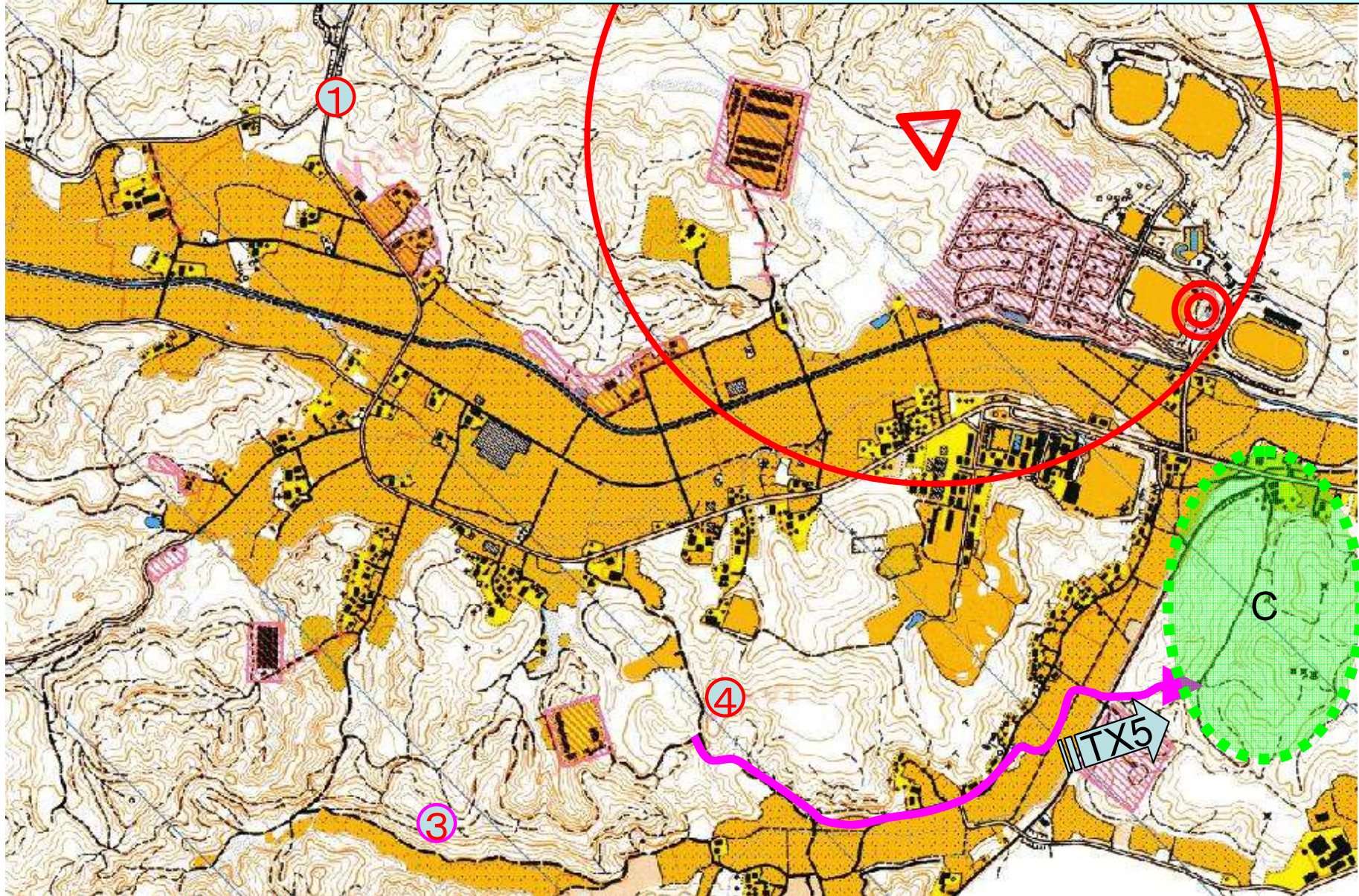
折角方探に良い場所なので禿山でTX5を聞く。過去の探索結果と総合してCエリアと推定する。一旦戻ってトレイン中央部側からアプローチする方法もあるが、Cエリアをあらかじめ広く見渡せる南側からのアプローチを選択する。

(中央部側からのアプローチの場合、Aポイントにくるまで、Cエリアは陰となる。)



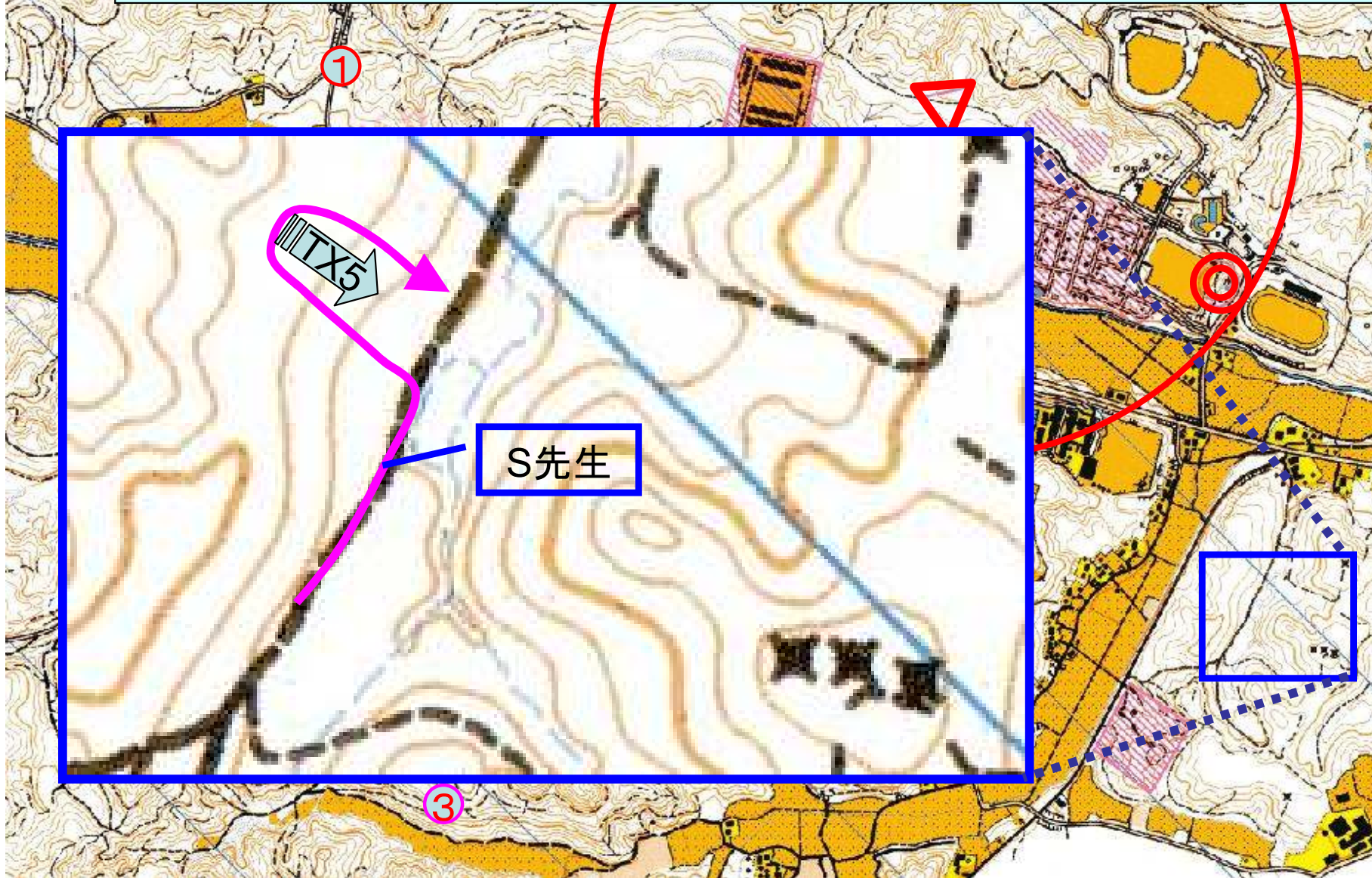
⑩山に入る

Cエリアに入っていく山道方向にTX5は聞こえる。やはり、思っていた通りだ。あぜ道を避けながら山道の入り口へと向かい、山に入る。伐採が進み、道がよくわからないが、大体の方向に向かって尾根道と思しき道に出る。道のどちらに行けばよいのかわからない。S先生が待機している。



⑰山に登る

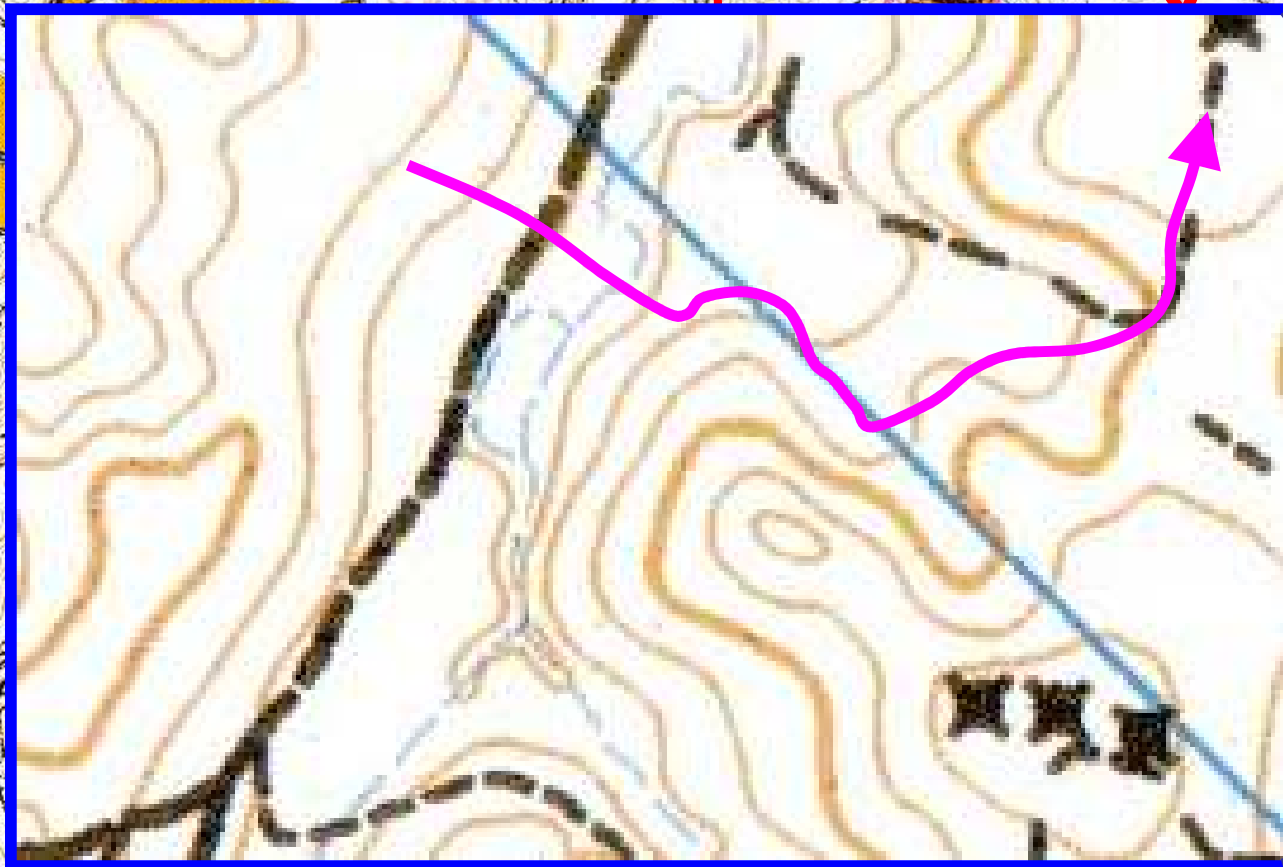
TX5が鳴くまで1分余りあったので、道脇の山に登って待機する。TX5が鳴く。なんと今上ってきた道方向、すなわち道とは直角方向だ。あわてて道へと降りると、急に弱くなって方探不能となった。なんてこったい。ということはさらに山向こうだ。今日初めてのコンパスモードで藪を進む。



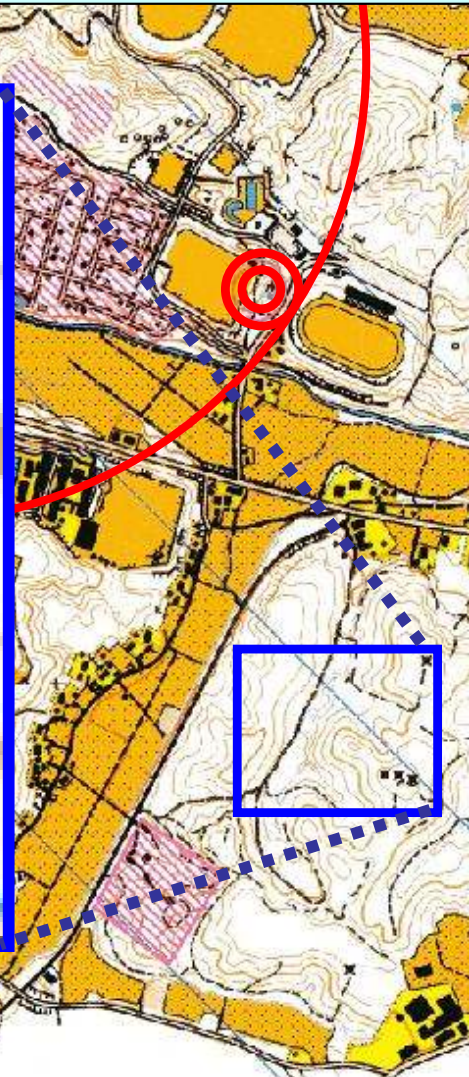
⑱ 反対側の山へ

道を渡り、藪を進むとまもなく水路がある。場所を選んで渡る。今度は上りだ。せいぜい言いながら上る。山腹にでると自然とコンパス方向(下り)ではなく、等高線に沿って山を回っている自分に気づく。いけない、いけない。時計を見るとまだ2分程度ある。この山のてっぺんではなく、コンパスどおりに下に下り、さらに上って向こう側の高いところまで行けそうだ。意を決して進む。反対側の山には道があったので、それも使ってなるべく高いところまで上がった。

①

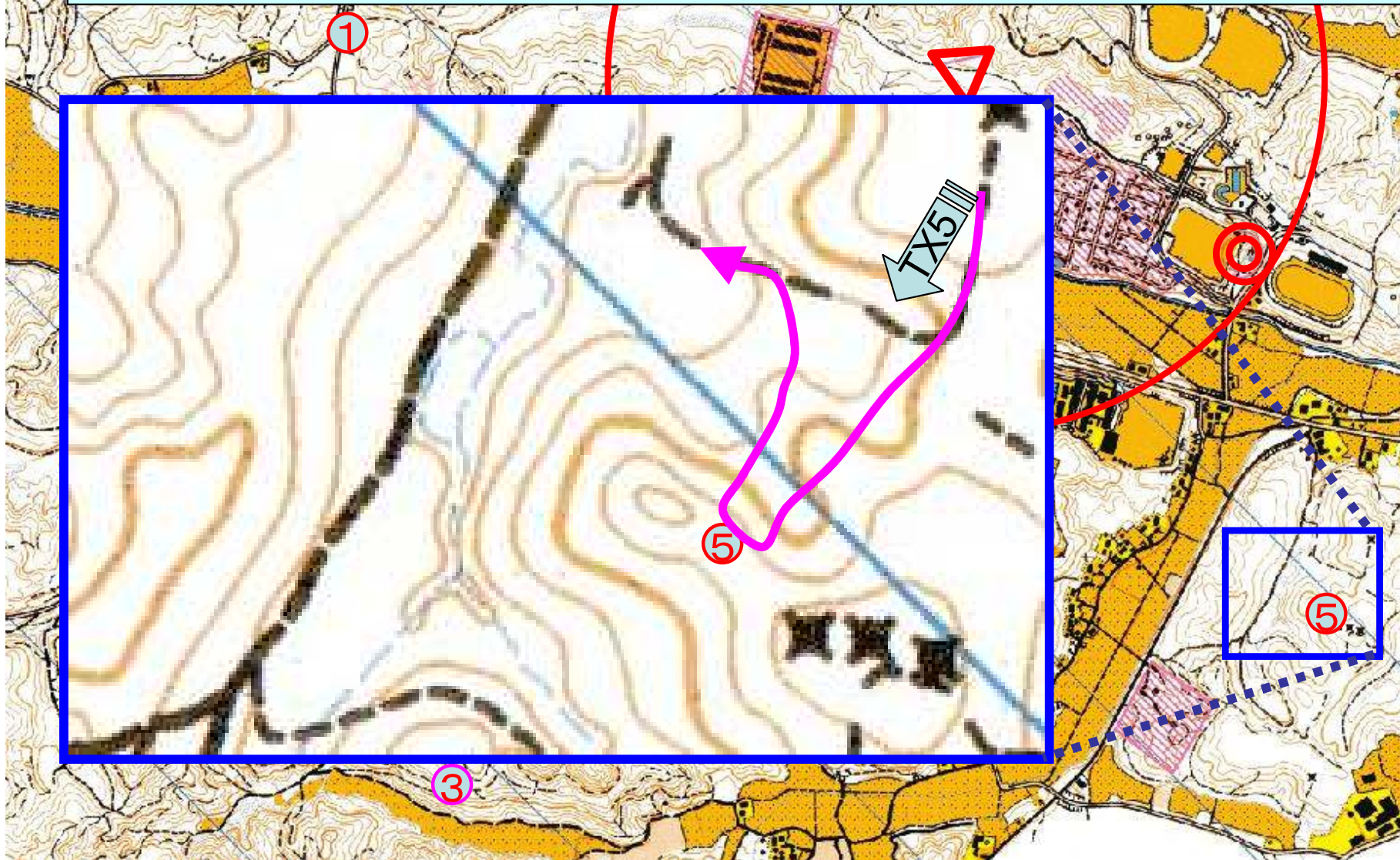


③



⑬TX5

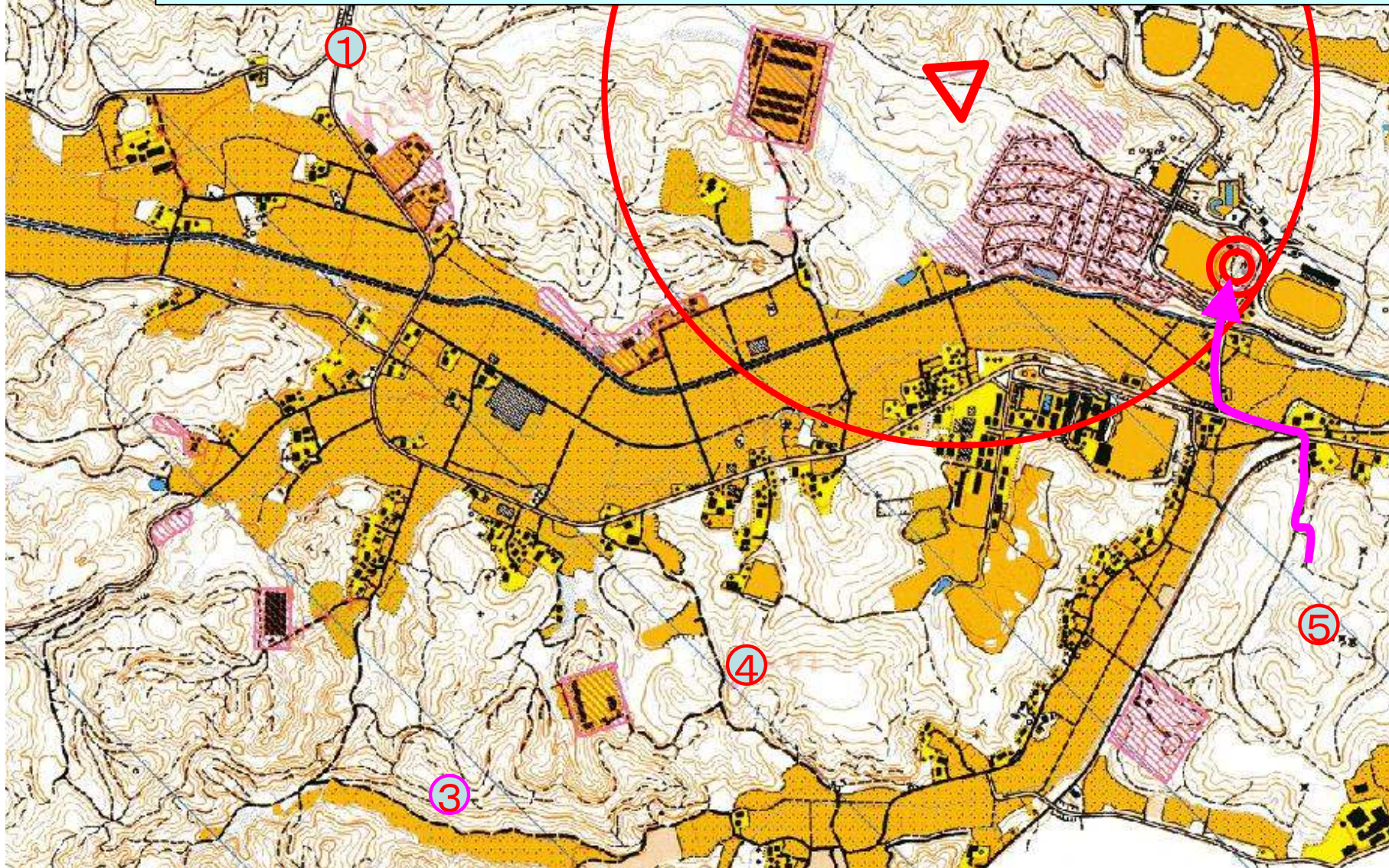
TX5が鳴く。やられた。今来た方向だ。あわてて戻り降りまた上る。なんてこっ
たい、さっきの山の山頂だ。山頂を見上げると走り去る人影が見える。TX5
ゲット。さっき発見した道を地図で確認し、その道でゴールへ向かうことにし、
また下って上った。





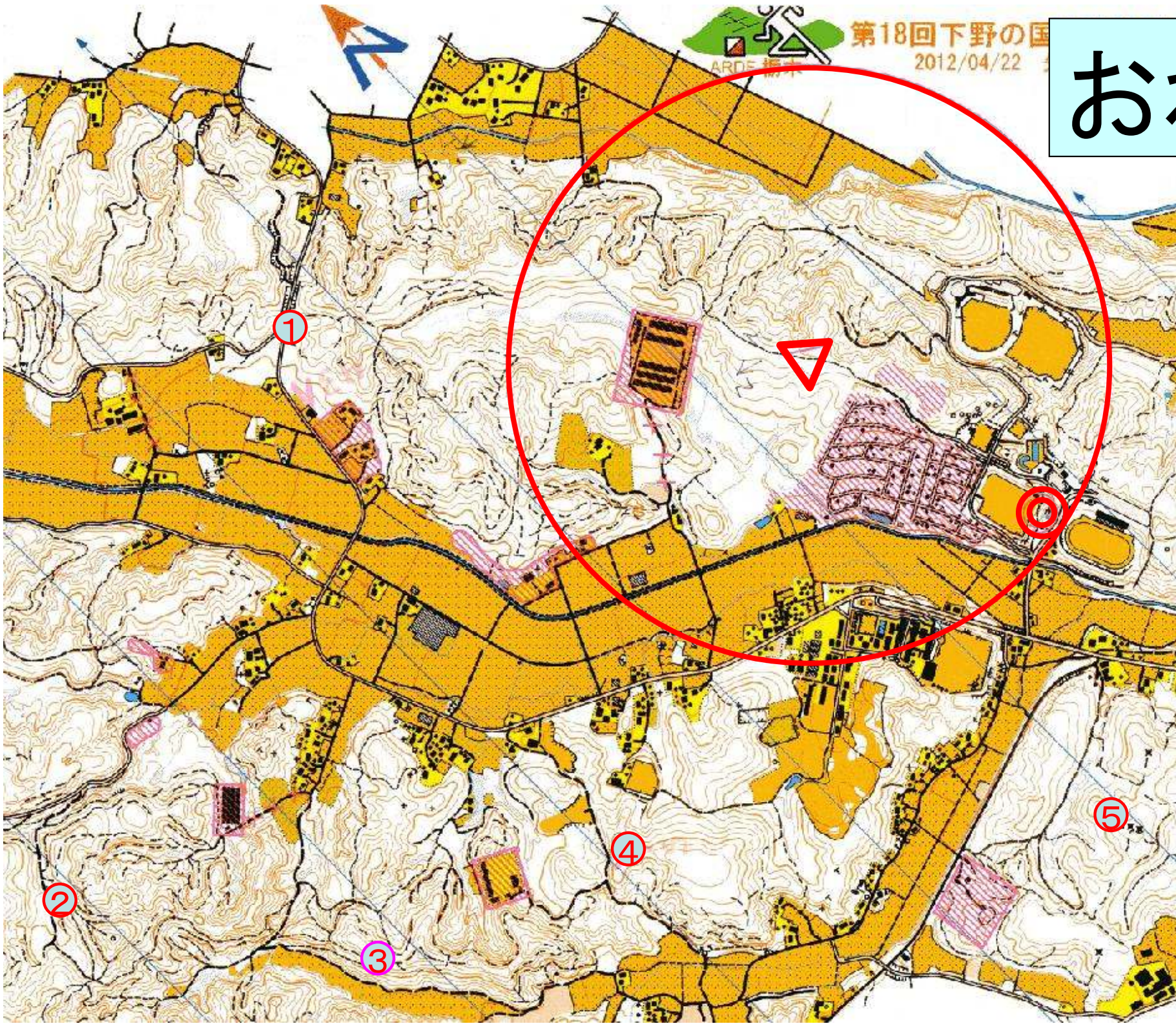
⑳ゴールへ

残り時間はあと15分(このとき制限時間は120分と間違えていた)。何とか間に合いそうだ。途中、地元の人と言葉を交わして、ゴールに向かう。ビーコンは斜面接地のためか電波は意外と反射の影響を受けているようで、数十mの近傍に近づいたところでも大きく強弱があった。ゴール。





おわり



反省その他

◇途中でペンを落としてしまった。紐の取り付けが甘いと認識していたのであるが、そのままにしてしまっていたのが敗因。

◇途中で地元の人に「何の大会をしてるんですか？」と聞かれた。いつもだと、「電波を使った宝探しゲームをやっています」で終わるところであるが、余りにもにこやかに聞いてきたので、さらに説明してしまった。「結構面白いですよ。」とか「今日は世界選手も来ているんです」(←本当のことでしょう)など、いろいろお話し、最後は「お騒がせしてすみません。」と言って分かれた。